



# 富山県SDGs宣言実施状況報告書



2023年4月20日  
 キタノ製作グループ  
 代表取締役社長 北野 潤一

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

## 記

1 取組み期間 令和4年8月31日～令和5年3月31日

## 2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】主力の医薬容器・ライフケア製品において、健康で快適な暮らしに必要とされる製品を開発・製造し、品質の維持・向上に努めながら、安心・安全な製品をお客様に提供することで、社会・地域に貢献します。</p> <p>【実施状況】            ・トップシェアである医薬容器(傾斜塗布容器)やライフケア製品(二色歯ブラシ)を開発・製造することで、健康で快適な暮らしに寄与しています。            ・GMP(適正製造規範)に準拠した生産体制と品質マネジメントシステム(ISO9001)を維持することで、安心・安全な製品をお客様に提供しています。            (ISO9001は、2022年12月入善工場更新審査、2023年3月八尾・富山工場で維持審査完了)</p>
2	<p>【目標】社員が健康で働きやすい安心・安全な職場環境づくりに努めます。</p> <p>【実施状況】            ・GMP(適正製造規範)に準拠した生産体制のもと、クリーンで冷暖房設備が完備した働きやすい職場環境を維持しています。            ・ワークライフバランスの推進により、1人あたり所定外労働時間は3.2H/月、有給取得日数は11.5日/年</p>
3	<p>【目標】CO2削減につながる省エネや再生可能エネルギーの活用等の取組みを推進し、事業活動を通して、人々の生活環境の保護、環境負荷の低減に努めます。</p> <p>【実施状況】            ・再生可能エネルギーは太陽光発電の活用により貢献            (CO2削減量約33ton/年、杉の木が1年に吸収するCO2量約2.3千本に相当)            ・原単位の電力使用量は対象3工場とも削減、プラスチックの廃棄物削減は一部工場で増加となるも、製品歩留の向上により対策中、全体量で削減(約26ton/年の再生材リペレットを実施)            ・再生材、バイオマスプラスチックについて、4製品に対し試作の上、お客様に提案            ・樹脂の使用量削減を目的とした製品の軽量化を検討中            ・八尾工場倉庫屋根の屋上緑地化を実施(2022年11月)、節電効果に期待            ・八尾工場は経産省資源エネルギー庁の評価で2019年より4年連続「Sクラス(省エネ優良事業者)」を継続</p>

※宣言日(ウェブサイト掲載日)から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。